

### 南海ホークス メモリアル ギャラリー (大阪市中央区)

## ザ・見遊じあむ

56

名選手のユニフォームやグッズを展示



この時、大阪市内を巡回した優勝パレードは「涙の御堂筋パレード」と呼ばれ、ファンの応援ぶりは阪神タイガースを凌ぐほどであったと言われています。南海ホークスはまた、現在も長期連載中の野球漫画「あぶ

### 大阪を本拠地に活躍した 往年の名球団

往年のプロ野球ファンには懐かしいスポットです。大阪を本拠地に1938年から1988年まで活躍したプロ野球球団・南海ホークス(現在は福岡ソフトバンクホークスに移管)を記念するグッズや映像が観られます。球団の歴史で圧巻なのは1959年の日本シ

さん(水島新司作)が登場した球団としても有名です。ギャラリーでは、鶴岡一人氏や杉浦忠氏など名監督が着用していたユニフォームやジャンパーの展示をはじめ、歴代の名選手の活躍ぶりをパネルと映像で紹介しています。ただし、元監督の野村克也氏が、球団



本拠地だった大阪球場跡地にはホームベースがデザインされています

### ミュージアムメモ

▶交通/南海本線・地下鉄「なんば」駅下車すぐ。なんばパークス9階フロア▶開館時間・休館日/なんばパークスの開館時間・休館日▶入場料/無料

## 「ウルフマン」



### 満月の夜、人は狼になる

ウルフマンとは、その名の通り日本語では「狼男(おおかみおとこ)」のこと。狼男は、人間が狼または半狼半人の姿に変身したり、狼に憑かれた人間の姿。人狼(じんろう)ともいいます。狼男を描いた映画は古くからあり、1941年のハリウッド映画「狼男」がよく知られています。1994年にはジヤック・ニコルソン主演の「ウルフ」が話題になりました。

19世紀のイギリス、ブラックムーアの町。舞台俳優であるローレンスは兄のベンが突然行方不明になったことを、ベンの婚約者のグエンからの手紙で知ります。ベンを探してほしいというグエンの懇願もあって久しぶりに実家である古びた城に帰ってきました。しかし到着早々、無残に肉体を引き裂かれたベンの死体が発見されます。自ら犯人捜査に乗り出すローレンス。一方で奇怪な態度で接するのがローレンスの父親のジョン。満月の夜、謎の魔物の出現におびえるブラックムーアの町の人々。ローレンス自身も謎の魔物に襲われ、肉体が異様に変化していくことに驚きます。謎の魔物の正体は狼男なのか?父親の秘めた真実は?

人間が狼男に変身していく特殊な、狼男の動きはよくできています。音響の効果もあってホラーの怖さも十分。月の明るい夜に観ると怖さも増幅すること間違いなし。

## このシネマ

## ガレいナ

## 大阪の戦跡を歩く

第55歩

### 原爆詩人 峠三吉の詩碑 (豊中市)



図書館の入口に建つ詩碑

原爆詩人・峠三吉は1917年に現在の豊中市岡町で生まれました。1945年8月6日に広島で被爆し、この体験をもとに「ちちをかえせ ははをかえせ」ではじまる原爆詩集を発表しました。三吉は被爆から8年後の1953年、気管支の持病が悪化して36歳の若さで亡くな

ります。三吉の死から10年後、広島市の平和公園に「にんげんをかえせ」の詩碑が建立されました。豊中市も1995年、戦後50周年にあたり、峠三吉の顕彰詩碑を生誕地に近い、市立岡町図書館の敷地内に建立しました。

### 撰津 河内 和泉 三國誌 おおさか

56  
(大阪市  
中央区)

### 藤山寛美と道頓堀「中座」 庶民の人情を演じ続けた 天才喜劇役者

松竹新喜劇の俳優・藤山寛美さんが亡くなって、今年の5月21日で20年になります。1929年に劇団俳優の末息子として生まれた寛美さんは4歳で初舞台に立ち、60歳で亡くなるまで役者一筋の道を歩きました。1948年、道頓堀の「中座」で旗揚げした松竹新喜劇に加わり、庶民の人情と笑いを演じる喜劇役者として一大人気を博しました。特に1959年からテレビで放映された舞台「親バカ子バカ」では、座長の渋谷天外と共演して演じた「アホ息子」役が大ヒット。「なにわの天才喜劇役者」と呼ばれるようになりました。一方で「役者は遊んでいないと芸が出ない、と母から教えを受けた」として豪遊三昧し、多額の借金を背負って破産。一時は松竹新喜劇を解雇されたこともありました。



喜劇「親バカ子バカ」では「アホ息子」役が当たりしました

復帰後は248ヶ月もの連続無休公演をなし、遂げる「役者の鬼」に徹しました。「役者とは人気商売。人気とは人の気、お客様第一と心得てこそ松竹新喜劇。自分の気を先行させたら自気商売になってしまいます」というのが自戒の弁でした。1990年の始めに肝硬変が悪化して入院。「舞台に復帰したい」という願いもむなしく56年間の壮絶な役者人生に幕を閉じました。亡くなる3日前、「中座に行きたい」と言って、夜遅くに妻と「中座」に行ったというエピソードがあります。寛美さんが舞台で演じ続けた「中座」はその後、老朽化と営業不振により1999年に寛美さんの後を追うように閉鎖しました。

## いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

日本をいま一度  
せんたくいたし申候  
坂本 龍馬

フランスの作家・ジャン・コクトー(1889~1963)の言葉。若さは無限の可能性を秘めているのだから、将来が予測できるような安全なコースを選ばず、不確かであっても夢に賭けるべきであるという意味。コクトーは株の売買に手を染めたこともあり「安全な株」という比喩はその体験から生まれたものと言われています。

青年は安全な株を  
買ってはならない  
ジャン・コクトー